

令和 4 年 2 月 5 日

学校関係者評価委員会 委員長 八木 克真

### 1 学校関係者評価委員会の構成

委員長：八木克真（PTA会長）

委員：大崎美代子（元教育委員・元校長）、廣田香（保護司）、町田幸夫（王子本町会一丁目町会長）、高木基雄（王子田楽衆代表）、角田忠夫（元PTA会長・民生児童委員）、山崎守義（元PTA会長 青少年地区委員）

### 2 学校関係者評価委員会の主な活動

#### (1) 6月12日（土）

本校会議室において第1回学校関係者評価委員会を開く。道徳地区公開講座の参観。学校から今年度の経営計画（中期経営目標、短期経営目標、具体的方策等）を説明。本校教職員の紹介をDVDにて行う。校庭改修工事、GIGAスクール構想に基づく授業等の工夫、WEBによる通知等について協議、意見交換を行う。

#### (2) 12月3日（土）

本校会議室において第2回学校関係者評価委員会を開く。音楽会の鑑賞を行う。学校経営の様子（中間報告）、校内研究、運動会の様子等について協議、意見交換を行う。給食の試食、懇談を行う。

#### (3) 2月5日（土）

本校会議室において第3回学校関係者評価委員会を開く。6年児童と学校評議員の意見交流を行う。児童は学級で「きたコン」を活用し、Google Classroomにて意見交流に参加する。学校評価及び次年度の学校経営について協議、意見交換を行う。

### 3 学校関係者評価の結果と分析

#### (1) 自己評価と委員評定及び主な意見

\* 評価・評定は4段階 4:肯定的な意見が90%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:49%以下

目標	重点目標	自己評価	委員評定	委員意見
確かな学力	学習意欲	4	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 子供たちの「語彙力」や「人間関係を築く力」が低下していると感じることがある。社会の中で生き抜いていくために、欠くことができない、「自分の考えを正しく伝える、プレゼンテーションスキル」や「多様な人とうまくコミュニケーションを取るスキル」を高めていけるよう、引き続き、NIEをはじめ、いろいろな取り組みや授業上の工夫をお願いしたい。</li> <li>• NIE活動に関しては、家庭での新聞購読が少ない現状がある。新聞から得るものの大きな多方面への力となることを考えて、積極的に進めていただきたい。</li> <li>• 毎日の宿題の量にバラつきがあると聞いている。家での学習習慣をつける為にも、毎日コンスタントに同じ位の分量</li> </ul>
	基礎基本の定着 学習指導	4	4	
	NIE活動	3	4	

よき人間関係づくり	あいさつ 礼儀	3	4	<p>を出してもらえると保護者も安心できると思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• コロナの影響や、児童数の増加により、小回りの利く学校運営を行っていくことが難しくなる面もあるかと思うが、王子第二小学校らしさを生かしてほしい。</li> <li>• 現状では、縦割班等での異年齢児童間の交流は、制約等もあるかと思うが、引き続き充実をお願いしたい。</li> <li>• 学校へ訪問した時に、児童がすすんで挨拶してくれる。</li> </ul>
	基本的な生活習慣	3	4	
	異年齢集団活動	3	4	
	心の教育 道徳教育	3	4	
すこやかな体づくり	充実した学校生活 生活指導	4	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 子どもたちも大人同様に多くの情報が容易に入手できてしまう。良い面だけでなく、望まない悪い状況に巻き込まれないための安全教育の充実や、情報をうまく活用していけるスキルが身につくような授業へのご配慮をお願いしたい。</li> <li>• JRC の持っている様々なメニューを、積極的にこれからも活用してほしい。</li> <li>• 特別支援教育については、さまざまな制度やサポート体制があり、色々と取り組んでいて、感謝している。</li> <li>• サポートを必要とする子への支援だけでなく、王二小の子どもたちがそれぞれの特性や個性を認め合うことのできるような理解教育の機会があると、子どもたち同士の思いやる気持ちが一層高まっていくのではと思う。</li> <li>• 昼休みの時に、学校の横を通ると児童が元気に外遊びを楽しんでいる。</li> </ul>
	体力の向上	3	4	
	個に応じた指導 特別支援教育	3	4	
	給食指導	4	4	
	安全指導 安全教育	4	4	
特色ある教育活動	情報の発信	4	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 王子田楽について、このままだと衰退の可能性もあるかと思うと本当に残念だ。しかしながら、新たなコロナオミクロン株の出現で学校生活も更に慎重な対応になることと思う。将来、すっかりコロナの文字が消えてから、王子田楽への対策を考えたらよいと思う。</li> <li>• 地域青少年健全育成活動への積極的な参加や、総合的な学習を通じて地域の歴史や文化を子供たちに伝える取り組みに力を入れていると感じる。</li> </ul>
	地域を愛する 児童の育成	3	4	

## (2) その他の意見

「十分当てはまる」と「やや当てはまる」を肯定的な意見として自己評価するのではなく、2つの意見の割合なども考え合わせながら次年度に向けた取り組みを考えたい。

## 4 学校関係者評価を受けた改善の方向性

教育活動全般に対し、概ね肯定的に受け止めていただいている。コロナ禍、様々な制限や学校行事などの変更があった。今後も地域とともにある王二小の特徴を生かし、「チーム学校」として、地域、保護者とともに成長・進化・発展する学校作りを目指していく。今後も子ども達の健康・安全を守るために、感染防止対策や安全指導にしっかりと取り組みながら、様々な経験の機会を確保できるように教育計画をたて、柔軟に対応していく。

また「王子田楽」をはじめとした、地域の伝統文化を学ぶ機会を充実する。飛鳥山博物館と連携し、授業モデル構築する。